Komaba Tuition Centre
KOMABA

中学１年生

国語

６月 19 日

先週(6/12)のプリントの残りを使います。

このあとのページは、過去問なので土日の勉強用に使ってください！

授業で使用するもの：**筆記用具・先週のプリント**

名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

一　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

1 「おはよ。」とつぶやきながら教室に入ると、同じような［　A　］反応が返ってくる。中学生活が始まって三週間。僕には［　A　］まだ友達というものはできていない。小学校のときはもう少し簡単だったはずなのに、なかなかうまくいかない。今日も曇りやないちゃんが花曇りって言ってたけど、四月は意外と天気悪い日が多いねんな。」と、となりの川口君が声をかけてきた。川口君は毎朝、先生が来るまでの間話しかけてくる。けれど、それは「あいつだあって①そうなんだ。」君も僕もさっきより［　B　］を持て余して、窓の外を見つめるしかなくなってしまう。

2 「こっち、パス。」せいで、今日の体育はバスケットボールだった。まだなじんでない仲間とのチーム競技は、なかなかなるかもしれないが、僕は俊敏に体を動かした。敵のコールをカットしたり、ドリブルしたりと空いている、ボールはぽとりと落ちた。定かではないが、僕はねらいうちされたのかもしれない。

3 「いいね、子供は。ぼんやりしとっても、やることが転がってくるんやから。」ばあちゃんはうらめしそうに言った。

明日の野外学習用に向けてお菓子を買うお金をくれるようにたのむと、ばあちゃんはうらめしそうに言った。

別にいけばあちゃんがくれた小銭を手にしてつぶやいた。

お菓子買いにこうや。」パーな。あそこなら安いし。」僕も行こうかな。」そう言うすき間はいくつかあって、間もあった。

駅前に新しくできたスーパーにはみんながいるかもしれないから、僕は駅とは反対方向の小さな駄菓子屋に向かった。「いらっしゃい。」と眼鏡をかけたおじいさんがかすれた声で言うのに、「どうも。」と軽く頭を下げながら、お菓子を探す。この期におよんで、みんなと交換しやすい物がいいな、なんて考えてしまう自分が情けない。

今日も放課後、何人かの男子で盛り上がっていた。入学式から何度かのきっかけをやり過ごしていく中で、ハードルは高くなるばかりだった。

ここにも売ってるんだ。」

化教室のお知らせを見ながら僕を見送った。

ばいいあっちゃんは大人は待っとっても何もやって来てくれんから、探さんとあかんわ。次は何しようかな。」と地域の文

たった。

スーパーにはみんながいるかもしれないから、僕は駅とは反対方向の小さな駄菓子屋に向かった。「いらっしゃい。」と眼鏡をかけたおじいさんがかすれた声で言うのに、「どうも。」と軽く頭を下げながら、お菓子を探す。この期におよんで、みんなと交換しやすい物がいいな、なんて考えてしまう自分が情けない。

父さんが好きだったせいで、入れた僕は、なつかしいパッケージを見つけ手に取った。昔よく食べたかたい梅干しのお菓子。

いくつかお菓子をかごに、僕は幼稚園のころから気に入って食べては、すっぱいのにと周りをおどろかせていた。でも、そう思って棚にもどそうとすると、

④「これじゃだれも欲しがらないよな。」そう思ってていてん。」

「おじ、俺こそだれも買おうと思うと声が聞こえた。振り返ると、川口君がいた。

「宮下君も、梅干しの好きなんや。」

「僕も小さいころからすっぱいのに食べてた。」

「そうなんや。」

「そうか。」

「僕はすっぱいけどねん。」と聞かれて、すっぱいのに俺はじいちゃんが好物やから、しょっちゅう食べてる。」

「そっか。」

教室の外で会ったって、相変わらず僕らの会話はたどたどしい。

「……えっと、明日の野外学習にこれ、持って行こうかな。」
僕がとどこおりそうな空気をふっ切るように、お菓子をかごに入れると、
「ああ、俺も。つかれたとき、梅干し食べるとええって言うし。」
と川口君も手に取った。
⑤僕が手に提げた小さなふくろの中にはあまずっぱい梅干しがちゃんと入っている。
ついでに、店を出ると最近続いているぼんやりとした花曇りだ。でも、
川口君と僕はいつもと同じようにぎこちない。

問一 A に入る最も適切な言葉を次から選び、記号で答えなさい。

ア ぼそりとした　イ うんざりとした　ウ ゆっくりとした
エ やんわりとした　オ ぼんやりとした

問二 B に入る適切な言葉を漢字二字で書きなさい。

問三 C に入る最も適切な言葉を次から選び、記号で答えなさい。

ア うなずいた　イ 首を横に振った　ウ 言い返した
エ あきらめた　オ 強がった

問四― 線①「うまくつながらない」ものは何か、文章中から二字で抜き出しなさい。

問五【1】の場面で「僕」の気持ちと重なる情景を二十字以内で探し、初めと終わりの三字を書きなさい。

問六― 線②「はやる気持ち」とあるが、このときの僕の様子として適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 思っていたように活躍の機会がおとずれて、焦っている。
イ 急にわっというみんなの歓声が聞こえて、あわてている。
ウ 思いもよらぬ絶好のチャンスがきたので、興奮している。
エ みんなによいところを見せられるので、楽しんでる。

問七― 線③「わずかなとっかかりはするりと抜け落ちていった」とあるが、

(1)「とっかかり」と似たような意味で使われている言葉を文章中から四字で抜き出しなさい。

(2)「とっかかりはするりと抜け落ちていった」から読み取れる「僕」の気持ちを、［　　］の中の言葉を二つ使って、二十五字以内で書きなさい。

同情　期待　くよくよ　いらいら　がっかり

問八― 線④「これじゃだれも欲しがらないよな」と思ったのは「僕」がお菓子のことでどのように考えていたからか。十五字以内で探し、初めの五字を書きなさい。

問九 僕と川口君のやりとりが、いつもとぎれとぎれであることがよくわかる言葉を【3】の場面からそれぞれ六字以内で二つ抜き出しなさい。

問十― 線⑤「僕が手に提げた小さなふくろの中にはあまずっぱい梅干しがちゃんと入っている」とあるが、このことから、「梅干し」は、「僕」にとってどんなものだと考えられるか。「状況」の語を使って、二十字程度で書きなさい。

問十一【3】の場面で、僕が今までの状態を変えようと決意したことがわかる部分を文章中から抜き出し、初めと終わりの三字を書きなさい。

二　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

1私たちは、毎日いろいろな種類の野菜を食べています。野菜は植物ですから、根や葉、茎、花、実などの器官からできています。例えば、キャベツやレタスなら葉の部分を食べていますし、トマトやナスなら実の部分を食べています。それでは、私たちが普段食べているダイコンの白い部分はどの器官なのでしょうか。漢字で「大根」と書くくらいですから、根のように思うかもしれませんが、そんなに単純ではありません。

3葉と根、その間に伸びた胚軸とよばれる茎から成り立っています。根の部分には、種から長く伸びた主根と、主根から生えている細いひげのような側根があります。

4これに対して、私たちが食べるダイコンをよく見てみると、下の方に細かい［A］が付いていたり、［A］の付いていた跡に穴が空いていたりするのがわかります。ダイコンの下の方は［B］が太ってできているのです。いっぽう、ダイコンの上の方を見ると、［A］がなく、すべすべしています。この上の部分は、［C］ではなく［D］が太ったものです。

5［E］、ダイコンの白い部分は、［C］と［D］の二つの器官から成っているのでしょう。

6この二つの器官は、じつは味もちがっています。なぜ、ちがっているのでしょう。

①胚軸の部分は水分が多く、甘みがあるのが特徴です。胚軸は、根で吸収した水分を地上の茎や葉に送り、葉で作られた糖分などの栄養分を根に送る役割をしているからです。

7いっぽう、根の部分は辛いのが特徴です。ダイコンは下にいくほど辛みが増していきます。ダイコンのいちばん上の部分と、いちばん下の部分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。②ここには、植物の知恵ともいえる理由が隠されています。

8根には、葉で作られた栄養分が豊富に運ばれてきます。これは、いずれ花を咲かす時期に使う大切な栄養分なので、土の中の虫に食べられては困ります。そこで、虫の害から身を守るため、辛み成分を蓄えているのです。ダイコンの辛み成分は、普段は細胞の中にありますが、虫にかじられて細胞が破壊されると、化学反応を起こして、辛みを発揮するような仕組みになっています。そのため、たくさんの細胞が壊れるほど辛みが増すことになります。

9これらの特徴を活用して調理すると、ダイコンのさまざまな味を引き出すことができます。例えば、大根下ろしを作るときに、辛いのが好きな人は下の部分が向いていますし、辛いのが苦手な人は上の部分を使うと辛みの少ない大根下ろしを作ることができます。また、ダイコンを力強く直線的に下ろすと、細胞が破壊されて、より辛みが増します。逆に、円を描くようにやさしく下ろせば、破壊される細胞が少なくなり、辛みが抑えられるのです。

10普段何気なく食べているダイコンも、植物として観察してみると興味深い発見があります。他の野菜はどうでしょうか。いろいろと調べてみると、これまで気づかなかった野菜の新しい魅力が見えてくるかもしれません。

問一　［A］　［B］　［C］　［D］に入る適切な言葉を文章中からそれぞれ漢字で抜き出しなさい。

問二　［E］に入る最も適切な言葉を次から選び、記号で答えなさい。

ア　さて　　イ　また　　ウ　さらに
エ　だから　　オ　しかし　　カ　つまり

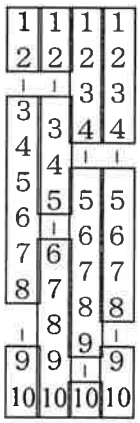
問三　次の文はどの段落にあるものか、その段落の番号を書きなさい。

このように、ダイコンの白い部分は異なる器官から成っていて、器官の働きによって味もちがうのです。

問四　線①「胚軸の部分は水分が多く、甘みがあるのが特徴です」とあるが、「甘み」のもとと考えられるものを、文章中から十五字以内で抜き出しなさい。

問五　線②「ここ」が表す内容を「ダイコンは」から書き始めて、十五字以内で書きなさい。ただし「ダイコンは、」は字数にふくめない。

問六　1から10段落の構成として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 

イ

ウ

エ

カ 

キ

ク

ケ

問七　この文章で筆者の最もいいたいことは何か、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　ダイコンの食べられる部分は、根と胚軸の二つの器官から成り立っているということ。

イ　ダイコンの下のほうに辛み成分があるのは、虫の害を防ぐ植物の知恵であるということ。

ウ　植物は器官が異なると、その器官の働きによって味もちがうということ。

エ　他の野菜についても調べてみると新しい魅力が見えてくるということ。

三　次の―線部の漢字の読みをひらがなで、かなは漢字で書きなさい。ただし、送りがなの必要なものはひらがなで正しく書くこと。（楷書でていねいに書くこと。）

（1）斬新なデザイン

（2）兄は潔癖な性格だ

（3）根に栄養を蓄える

（4）細かく描写する

（5）顎に手をそえる

（6）二位にふじょうする

（7）川に橋がかかる

（8）かさのえをにぎる

（9）病院でてんてきを打つ

（10）そくざに答える

二〇一八年度　中一国語　総合考査Ⅰ

一、問一　ア
問二　空気
問三　ア
問四　会話
問五　晴れるようした空
問六　ア
問七（１）チャンス　または　きっかけ　（どちらでも可）
（２）（例）クラスになじむ期待が外れ、がっかりする気持ち。
問八　みんなと交
問九　ただただしい・ぎこちない
問十　状況を変えるきっかけになったもの
問十一　僕がとう入れる

二、問一　A側根　B主根　C根　D胚軸
問二　カ
問三　⑩
問四　葉で作られた糖分などの栄養分
問五　ダイコンは、下のほうが辛み成分が多いこと
問六　ク
問七　エ

三、（１）ざんしん
（２）けっぺき
（３）たくわ
（４）びょうしゃ
（５）あご
（６）浮上
（７）架かる
（８）柄
（９）点滴
（１０）即座

三　次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

野原はうたう　作者名

ねがいごと　　たんぽぽはるか

①あいたくて
あいたくて
あいたくて
あいたくて

・・・

②きょうも
わたげを
とばします

おれはかまきり　かまきりりゅうじ

③おう　なつだぜ
おれは　げんきだぜ
あまり　ちかよるな
おれの　こころも　かまも
どきどきするほど
ひかってるぜ

おう　あついぜ
おれは　がんばるぜ
もえる　ひをあびて
かまを　ふりかざす　すがた
わくわくするほど
きまってるぜ

問一　「野原はうたう」の作者名を書きなさい。

問二　傍線部①「あいたくて…」とありますが、（1）「あいたくて」がくり返されていることでどんな効果がありますか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　満足を表す効果。　　イ　心情の変化を表す効果。
ウ　不満を表す効果。　　エ　思いの強さを表す効果。

（2）「あいたくて／あいたくて／あいたくて／あいたくて」を少しずつ弱くなるように読むと、どんな様子を伝える効果が生まれますか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　気持ちをかくして、せつなくなっていく様子。
イ　自分の気持ちに迷いがあり、ゆれている様子。
ウ　自分の気持ちを、一気に打ち消してしまう様子。
エ　気持ちがどんどん高まっていく様子。

問三　傍線部②「きょうも」とありますが、次々とわたげをとばしていく様子は何をしているように見えるのですか。五字でぬき出しなさい。

問四　傍線部③「おう　なつだぜ」とありますが、「なつ」であることがわかる行を、これ以外に詩の中から二つぬき出しなさい。

問五　「おれはかまきり」の詩は、どのような調子で読むとよいですか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　のんびりほのぼのした感じでゆっくり読む。
イ　一語一語をはっきりと、明るく元気に読む。
ウ　優しい気持ちを表すために、穏やかに読む。
エ　一人ぼっちでつらいと、さびしそうに読む。

問六　二つの詩に共通する特徴はどんなことですか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　生き物の名前が題名であること。
イ　真夏の情景が描かれていること。
ウ　自然の厳しさが読み取れること。
エ　ひらがなで書かれていること。

四　次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

1　では、ダイコンはどの器官を食べているのでしょうか。漢字で「大根」と書くくらいですから、根のように思うかもしれませんが、そんなに単純ではありません。

2　ダイコンの芽であるカイワレダイコンを見ながら考えてみましょう。カイワレダイコンは、双葉と根、その間に伸びた胚軸とよばれる茎から成り立っています。根の部分には、種から長く伸びた主根と、主根から生えている細いひげのような側根があります。私たちが食べるダイコンをよく見てみると、下の方に細かい側根が付いていたり、側根の付いていた跡に穴が空いていたりします。ダイコンの下の方は主根が太ってできているのです。［A］、ダイコンの上の方を見ると、側根がなく、すべすべしています。この上の部分は、根ではなく胚軸が太ったものです。［B］、ダイコンの場合、上の部分と下の部分とで違う器官を食べているのです。

4 3　器官が違うことで、じつは味も違ってきます。なぜ違ってくるのでしょう。胚軸の部分は水分が多く、甘いのが特徴です。胚軸は、根で吸収した水分を地上の茎や葉に送り、葉で作られた糖分などの栄養分を根に送る役割をしているからです。

5　［C］、①根の部分は辛いのが特徴です。ダイコンは下にいくほど辛味が増していきます。ダイコンのいちばん上の部分と、いちばん下の部分を比較すると、下のほうが十倍も辛味成分が多いのです。ここには、植物の知恵ともいえる理由が隠されています。

6　根には、葉で作られた栄養分が豊富に運ばれてきます。これは、いずれ花を咲かす時期に使う大切な栄養分なので、土の中の虫に食べられては困ります。［D］、虫の害から身を守るため、辛味成分を蓄えているのです。ダイコンの辛味成分は、普段は細胞の中にありますが、虫にかじられて細胞が破壊されると、化学反応を起こして、辛味を発揮するような仕組みになっています。そのため、たくさんの細胞が壊れるほど辛味が増すことになります。

7　②これらの特徴を活用して調理すると、ダイコンのさまざまな味を引き出すことができます。例えば、大根下ろしを作るときに、辛いのが好きな人は下の部分が向いていますし、辛いのが苦手な人は上の部分を使うと辛味の少ない大根下ろしを作ることができます。また、ダイコンを力強く直線的に下ろすと、細胞が破壊されて、より辛味が増します。逆に、円を描くようにやさしく下ろせば、破壊される細胞が少なくなり、辛味がおさえられるのです。

問一　1段落のこの文章での役割は何ですか。漢字四字で書きなさい。

問二　次の文は2段落をまとめたものです。空欄にあてはまる言葉をアとウは一字、イとエは二字で文章中から探し、ぬき出しなさい。

私たちは、ダイコンを食べるとき、下のア の部分と上の イ とよばれるウの部分の二つの エ 器官を食べている。

問三　［A］～［D］に入る言葉を次から一つずつ選び、記号で答えなさい。（同じ記号をくり返し使ってもよい。）

ア　そして　　イ　そこで　　ウ　いっぽう
エ　しかし　　オ　つまり　　カ　さて

問四　3段落の問いの答えが説明されているのは、どの段落ですか。段落番号を算用数字ですべて答えなさい。

問五　傍線部①「根の部分は辛いのが特徴です」とありますが、

（1）ダイコンの辛さについて正しく説明したものを、次から一つ選びなさい。

ア　いちばん上の辛味成分は、いちばん下の十分の一である。
イ　いちばん上の辛味成分は、いちばん下の十倍である。
ウ　上も下も、両側のはしにいくほど辛味成分が多くなる。
エ　根の部分は他と比べて、十倍もの辛味成分がある。

（2）根の部分が辛いのは、なぜですか。文章中から十一字でぬき出しなさい。

問六　問五（2）のような理由がダイコンに隠されていることを、筆者は何と表現していますか。文章中から五字でぬき出しなさい。

問七　傍線部②「これらの特徴を～引き出すことができます」について、

（1）「これらの特徴」として誤っているものを、次から一つ選びなさい。

ア　胚軸の部分は甘い。　　イ　根の部分は水分が多い。
ウ　根の部分は辛い。　　エ　細胞が壊れるほど辛味が増す。

（2）大根下ろしを作るときに、辛いのが好きな人は、ダイコンのどの部分を使って、どう下ろすとよいですか。文章中の言葉を使って、三十五字以内で書きなさい。

二〇一五年度　第一学年　一学期　国語　総合考査Ⅰ　解答

一

一、エ　二、どうでもいいような目　三、このあいだ～足りない。
四、(Ⅰ)オ　(Ⅱ)エ　(Ⅲ)イ

二

一、うわの空　二、赤、黄、緑～たような線　三、にじを全部みたいという（思い。）
四、エ　五、イ　六、？　七、(1)ア　(2)かさをすぼめた人たち
八、大空のドラマ・はなやかな橋・頭上の出来事　九、エ　十、少年も大声・少年は笑い
十一　(A)オ　(B)ウ　十二、杉　みき子

三

一、工藤直子　二、(1)エ　(2)ア　三、ねがいごと
四、おう　あついぜ・もえる　ひをあびて　五、イ　六、エ

四

一、問題提起　二、(ア)根　(イ)胚軸　(ウ)茎　(エ)違う
三、(A)ウ　(B)オ　(C)ウ　(D)イ　四、[4] [5] [6]
五、(1)ア　(2)虫の害から身を守るため　六、植物の知恵　七、(1)イ
(2)下の部分を使って、多くの細胞が壊れるように、強く下ろすとよい。

五

一、エ　二、(ア)中心　(イ)二種類の絵　三、ウ　四、エ　五、ア
六、私たちは、同じ図でも近くから見るか遠くから見るかによって、見えるものが違うこと。
八、中心にみるものを変える(こと。)・見るときの距離を変える(こと。)
九、であろう。　十、イ　十一、イ

六

①ケ　②ア　③キ　④イ　⑤エ

七

一、①説く　②掲げる　二、①支持　②完勝　三、①イ　②ア　③イ
四、①異議　②補償　③後援会

八

①こうえつ　②きょうたん　③きょうじゅん　④りょかくき　⑤操作　⑥調整　⑦摘む　⑧徐行
⑨現す　⑩勧告　⑪本懐　⑫著書　⑬超える　⑭観点　⑮懸案